





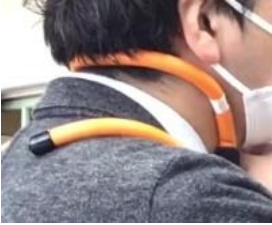



支援機器相談シート

相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子に座っているときに姿勢が崩れ、頭が左に傾いてしまう。改善のための手段はあるか。 ・右凸の側弯があり、体が左に傾きやすい。11月に車椅子を新調した。現在、車椅子使用時には下の写真のような姿勢で活動をしている。頭が前傾しやすい。 ・視線入力でのコミュニケーション手段を検討したい。装置について伺いたい。 ・視線を使った意思表示に関しては、日々の学習に加え、自立活動の時間に視線入力装置を使って見え方の確認をしている。12月に眼鏡の使用を始めた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>車椅子での姿勢</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>視線入力の様子</p>  </div> </div>
相談結果	<p>〈頭の固定について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討した機器：育児用品（担任所有）、ソフトワイヤー、ビーズクッション <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>*イーコレ・ベーシック（龍野コルク工業株式会社製） 中の空気を抜くことで形状記憶させることができる</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">イーコレ・ベーシック 身体の各部位をしっかりと支える。形状記憶式固定具</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を提示する位置も大事。 ・首が傾いても自分で戻せず、危険な状態になることがなければ、むしろ、自由度が高いまま、自分で動かせる状態にしておいた方がよい。 <p>〈視線入力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確実に見ることができるプロセスが必要。 ・現在の状態をしっかりと人が評価することが求められる。日々の学習の中で、選択する機会を多く設定し、それが確実にできる経験を積み重ね、記録をとる。 ・まずは見る、音を聞く、誘導して触る、持つなどの体感的な経験を繰り返すことで、物との距離感をつかめるようになる。 ・「見る」ことはできても、それが何か分かっていない可能性がある。現在は触れて確認している状態。 ・感覚を味わってから認知できるまで、少し時間を置く必要もある。絵カードなどで活動内容が分かるようになると、見て理解ができるようになる。見ているものが理解できるようになると、選択できるようになる。 ・本人の見やすい位置がある。これも記録の中で探っていくとよい。まずは首を動かさなくても

よいところに提示することが大切。角度も大切。

引用元：https://www.tatsuno-cork.co.jp/cubeads_jancord_list/